



垂水の子どもたち 応援ブック事業

Support book project

垂水の子どもたち応援ブック事業 本贈呈式

垂水市では、新型コロナウイルス感染症に伴う事業として、子どもたちにおうち時間を充実してもらおうと、市内の小・中学生全員に「本」をプレゼントする「垂水の子どもたち応援ブック事業」を実施しました。

6月5日には、柘原小学校で贈呈式が行われ、全校児童25人に自分たちの選んだ「本」が配布されました。

今回贈られた「本」は、子どもたちの年代ごとに作成された30作品のリストから自分が好きなものを3冊選び、その中から1冊が贈られたものです。今回の事業で、市内小・中学校の児童・生徒に合計843冊が贈られました。

また、この日の贈呈式は、新型コロナウイルスの影響で、参加者全員がマスクを着用して行われましたが、新しい本を手にとった子どもたちからは、たくさん笑顔が溢れていました。

■選んだ本
『月の光を飲んだ少女』
著/ケリー・バーンヒル



柘原小学校（5年）
前田 陽菜さん

「表紙の絵がきれいで、題名が面白そうだったのでこの本を選びました。これを機会にたくさん読みたいと思います」

■選んだ本
『ほんとうのことをいってもいいの?』
著/パトリシア・C・マキサク



柘原小学校（6年）
瀬戸口 美輝さん

「人の心理に興味があって、人の心が読めたらカッコいいと思って、この本を選びました。本を読んで学び、自分の生活に役立てたいです」

『高校の勉強のトリセツ』

著/船登 惟希

「高校の勉強は中学の10倍大変」、「高校での偏差値は中学での偏差値のマイナス10」など、多くの高校生が知らずに苦しむ高校の勉強の常識をわかりやすく解説。



『掟上今日子の設計図』

著/西尾 維新

「学藝員 9010」と称する人物が爆破予告動画を投稿。火薬探知犬と盲導犬を左右に司る爆弾処理班の扉井あざなが捜査を進める中、忘却探偵・掟上今日子も参戦するが…



『伝説の家政婦志麻さんがうちに来た!』

著/タサン志麻

子どものいる6軒のお宅を訪ね、リクエストにこたえ、3時間で10品以上の料理を作った。忙しい家族の食卓を幸せにする、フランス家庭料理のエッセンスを伝える。



図書館スタッフ おすすめの最新刊紹介

New book recommended by Library staff

垂水市立図書館には、毎月約100冊の新刊が納入されていて、広報誌でも毎月「図書館へようこそ」のコーナーで紹介しています。ご紹介している「本」は、図書館スタッフが毎月、季節や流行を考え、文芸作品だけでなく、医療関係や児童書等も選定しています。

「本」好き スタッフのおすすめ新刊をこの機会にぜひ、読んでみてはいかがでしょうか。

